

# 令和7年度沖縄県中国帰国者支援のための ボランティア研修会「学び舎」

戦後80年が過ぎて戦争の記憶が薄れる中、今一度中国残留邦人等の歴史的背景を知り、中国帰国者の現状を踏まえ、帰国者自身が活躍できる地域とのつながりについて考えます。

## 令和8年2月2日(月)

### 沖縄県庁 第2会議室 13時～15時30分

沖縄県那覇市泉崎1-2-2

#### プログラム



- ・九州中国帰国者支援・交流センター事業紹介
- ・行政説明（沖縄県生活福祉部保護・援護課）
- ・報告（中国残留孤児帰国者のための日本語学習支援サークル“朋友”）
- ・グループ討議

参加費  
無料

どなたでも  
参加いただけます

1945年（昭和20年）当時、中国東北地区（旧満州地区）には開拓団など多くの日本人が居住していました。同年8月9日、突然のソ連参戦により、人々は居住地を追われ、逃避中や収容所で飢餓や伝染病等により死亡者が続出するという悲惨な状況にありました。

このような混乱の中、肉親と離別して孤児となり、中国の養父母に育てられたり、中国人の妻になる等してやむなく中国に留まった方々を「中国残留邦人」といいます。そして中国から永住帰国された中国残留邦人とその家族を「中国帰国者」と呼びます。



主催： 社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会 九州中国帰国者支援・交流センター（担当 関）  
住所：福岡県春日市原町3-1-7 クローバープラザ東棟4階  
TEL：092-589-6667

※福岡県社会福祉協議会は、厚生労働省から「九州中国帰国者支援・交流センター運営事業」を受託し、中国帰国者を支援する拠点として、日本語教室や生活相談、交流事業等を行っています。